

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康都市杉並の推進			20年度予算コード	13	整理番号	135	枝番号	
担当部課名	保健福祉部 管理課		コード	140100		昨年度 整理番号	179・187・450			
係名	健康都市推進担当		連絡先 電話番号	内1344						
上位施策名		No	22		健康なまちづくりの推進					
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		4 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 1 施策番号 1 事業コード 1 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ・健康都市庁内推進会議委員 ・区内の医療施設等において看護業務等に従事しようとする者		(1) 健康増進法・21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21) (2) 健康都市杉並庁内推進会議設置要綱 (3) 杉並区福祉人材就学資金貸付要綱(福祉マンパワー問題検討会報告)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	健康都市杉並庁内推進会議及び部会の運営 健康都市指標を活用した課題分析(健康都市指標調査の実施) 健康都市白書の発行 福祉人材就学資金の貸付による福祉人材の確保(14年度新規貸付廃止・16年度継続貸付終了)		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) ・健康を支援する環境づくり、条件整備を行うことにより、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も安心して健やかに生活できる「健康都市杉並」を実現する。 ・福祉人材就学資金の貸付は、継続分も含め16年度で終了した。今後は区内医療施設等で引き続き既定年数以上、常勤職員として勤務できず、償還対象者となったものへの償還を促進する。						
	活動指標名(式)	(1) 健康都市白書発行部数 (2) 債権管理対象者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)健康と感じている人の割合 (2) 免除決定人数(累計) ÷ 貸付終了人数(累計)						
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する	
			実績	計画	実績	計画	22年度	の達成率%		
指標	活動指標(1)		部	1,200	1,200	1,200	1,200	1,500	80.0	
	活動指標(2)		人	65	47	45	37			
	成果指標(1)		%	81.6	82.0	80.8	82.0	85.0	95.1	
	成果指標(2)		%	61.3	61.8	61.8	61.8			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,972	4,715	2,605	7,859	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 20年度は保健福祉計画改定の年度となり、それに伴い事業費及び職員数が大幅な増加となっている。		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	2,389	3,314	1,994	2,321			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.05	1.44	1.34	4.05			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	9,513	13,162	12,248			37,017
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	12,485	17,877	14,853	44,876			
	単位あたりコスト(-) ÷		円	10,404	14,898	12,378	37,397			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	12,485	17,877	14,853	44,876				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)		
		健康都市指標調査(子育て支援ニーズに関する調査)の実施				1	回	1,994		
		健康都市白書の発行				1,200	部	571		
		健康都市杉並庁内推進会議、部会・作業部会(自殺対策・喫煙対策)				13	回	0		
		償還対象者への納付書発行、文書、電話等の通知、償還相談対応、変更手続き等				35	回	20		
		その他 ()						20		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 135 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	95.7	19年度予算 執行率%	55.2
		健康都市指標調査として「子育て支援ニーズ調査」を実施したが、調査委託契約額が当初予算額を大幅に下回ったため、予算執行率が低くなっている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		<ul style="list-style-type: none"> 健康都市指標調査については、19年度のみ調査予算が増額になっているが、20年度からは、事業開始当初と同規模で経年的に行っている調査の規模に修正するため、減額修正とする。 20年度は、保健福祉計画改定のため、予算を増額している。 					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平均寿命:12・18年度(男78.5歳・79.4歳)(女84.3歳・84.9歳)健康と感じている高齢者13・19年度(61.3%・72.3%)・貸付事業の開始当初は看護や介護の人材不足が社会問題となり、福祉マンパワーの確保が優先課題であったが、介護保険制度導入により資格取得者も増加し、区として資格取得を支援する役割は薄くなった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	健康都市白書について、他自治体からの問い合わせはあるが区民からの意見要望はない。 福祉人材就学資金については、他に資金貸付の制度はないかという問い合わせがあった。					
	今後の予測	健康都市白書は対象別、健康課題別等に現状把握と取り組みの評価を行い、今後も継続的に発行していく。庁内全体で取り組むべき新たな健康課題について、庁内推進会議で共有化し、健康都市の推進に向けた公共政策づくりを展開していく。福祉人材就学資金の貸付を再開する予定はない。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:健康都市の理念、現状、課題等を共有化し、全庁的な取組みとして推進していくために、白書発行、庁内推進会議の実施、保健福祉計画の策定は貢献度が大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:調査・白書発行、計画策定については区民への直接的な成果向上を求めるものではないため					
	成果向上のための方策	理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:負担の対象となる受益者負担はいないため。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:健康都市指標調査については、19年度のみ調査予算が増額になっているが、20年度からは、事業開始当初と同規模で経年的に行っている調査の規模に減額した。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している (^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者 (^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 健康都市指標調査委託の実施					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	委託により、調査の効率性及び分析評価の質が向上した。指名入札によるため、調査内容、データ分析のノウハウ等が蓄積されにくい。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 健康都市杉並を推進していくためには、区のあらゆる分野の施策に健康の視点を取り入れた公共政策づくりを全庁的かつ継続的に取り組んでいくことが必要である。 福祉人材就学資金の貸付については、継続分も含めて16年度で終了した。今後は区内の医療施設等で引き続き既定年数以上、常勤職員として勤務できず、償還対象者となったものへの償還促進に努めていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各分野にかかわる情勢変化や新たな健康課題について把握していく。 とくに分野をまたがる課題については、関連各課の共通認識と連携体制の強化が必要になる。課題解決のための中心となる部門が明確になりにくいことや部を越えた連携体制の構築がむずかしいため、健康都市杉並庁内推進会議への付議、部会設置等を活用していくことが必要である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 20年度は保健福祉計画改定のため、一時的に予算増となったため	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健所一般事務			20年度予算コード	001	整理番号	378	枝番号	
担当部課名	杉並保健所地域保健課		コード	150301	昨年度 整理番号	439の一部				
係名	管理係		連絡先 電話番号	4528						
上位施策名		No	22	健康なまちづくりの推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	55 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並保健所に勤務する職員及び保健業務に従事する雇上医師等		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並保健所設置条例 (3) 地域保健法・同施行令・同施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	業務上必要な事務用品類の購入及び事務機器等の保守等 医療業務に従事する職員の傷害・賠償保険等の加入 衛生主管部としての担当部内各課の連絡調整事務		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 庶務的経費を効率的に管理し、限られた予算の中で担当部内業務の効率的執行を行うとともに、職員がより安全かつ効率的に業務を行えるようにする。						
	活動指標名(式)	(1) 杉並保健所職員数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 予算執行率 (2)						
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画	22年度		
指標	活動指標(1)		人	115	115	115	114			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		率	85.60	100	89.26	100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,093	6,791	6,061	6,514	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円							
	(内) 委託費		千円	1,419	1,555	1,314	1,555			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.20	1.20	1.30	1.20	19年度は保健所維持管理とあわせて事務事業評価を行っていた。 活動指標の職員数は、四課一所の職員数。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,872	10,968	11,882	10,968			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	16,965	17,759	17,943	17,482			
	単位あたりコスト(-)÷		円	147,522	154,426	156,026	153,351			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0			907
特定財源計 +		千円	0	0	0	907				
差引: 一般財源 -		千円	16,965	17,759	17,943	16,575				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)	
		複合事務機の使用賃借及び消耗品供給契約					3	台	1,333	
		東京都保健医療情報センターにおける連絡通報受理業務委託(委託等)					1	式	1,296	
		保健所事業に従事する医師等の傷害保険					1	式	1,114	
		保健所業務に関する賠償責任保険					1	式	537	
		その他 (製版印刷機及びカラードラムの借料等)							1,781	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 378 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	89.3
		複合機の消耗品供給契約、製版印刷機の借料などの管理事務経費の執行のほか、保健所に従事する雇い上げ医師等に対する執務環境を整えるため、賠償責任保険の加入やB型肝炎特殊検査などを行った。また、需用費等の節減努力がなされた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年度の組織改正により、保健福祉部が部全体の調整機能を担うことになったが、衛生主管部として担当部内の連絡調整を担うこととなった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	より適正な予算執行が求められる。					
	今後の予測	統合内部情報システムの本格実施に伴い、情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進されるが、一方で情報量の増加に伴い、複合機(コピー・プリンタ)の依存が高まると思われる。また、組織を横断した課題が多くなり、より一層連絡調整機能が増加すると思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 施策に貢献する事業を円滑に進めていくうえで、適正な執行管理は欠かせないため。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 庶務事務システムや新財務システムの本格実施により、より一層資源の省力化を図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 職員対象の経費であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 新財務会計の本格稼働					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 保健所案内等印刷物を区内業者と印刷請負の契約を締結している。東京都医療情報センターにおける連絡通報受理業務を東京都を通じて専門業者に委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 文書の電子化を一層進める。 複合機(コピー・プリンタ)の使用量については、情報量が増大し増加が見込まれるが、ISO環境マネジメントシステムによる裏面使用の等のルール徹底を行い、削減に向け努力する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各種会議での資料等の重複が見受けられるので、配布や活用方法について検討し実施する。(事前にメール配信したものを改めて印刷して配布しないなど)	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	統合内部システムの本格稼働等により、可能な限り電子化されており、今後の紙の使用量の大幅な削減は見込めない。ISO環境マネジメントシステムの視点からも、引き続き削減に努めていく。事務用品等の購入に係る予算を精査し、予算執行管理を行っていく。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生統計調査等			20年度予算コード	004	整理番号	379	枝番号	
担当部課名	杉並保健所地域保健課		コード	160200	昨年度 整理番号	440				
係名	管理係		連絡先 電話番号	4528						
上位施策名		No	22	健康なまちづくりの推進						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。人口動態調査については、調査票に基づき杉並区の統計資料を作成する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策等広く反映させる。			
	活動指標名(式)		(1) 実施調査種数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)調査件数 (2)			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	件	7	5	5	11				
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	件	18,072	15,000	14,092	18,000				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,967	2,484	1,906	3,310	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 調査内容は厚生労働省より指示があるため、目標値の設定には馴染まない。 活動指標には、今年度、厚生労働省より委託された統計調査の実施種数を。成果指標には、その実施する統計調査の調査件数を代替指数として用いた。			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	40	188	22	219				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.54	0.54	0.54	0.54				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,892	4,936	4,936				4,936
		非常勤職員分	千円	0	0	0				0
	総事業費 + +	千円	6,859	7,420	6,842	8,246				
	単位あたりコスト(-)÷	円	979,857	1,484,000	1,368,400	749,636				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円	2,167	2,337	2,413				2,896
特定財源計 +		千円	2,167	2,337	2,413	2,896				
差引: 一般財源 -		千円	4,692	5,083	4,429	5,350				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	国民生活基礎調査		574	世帯	659					
	中高年の生活に関する縦断調査		67	人	466					
	21世紀成年者縦断調査		48	人	403					
	国民健康・栄養調査		20	人	290					
その他 (人口動態調査、社会問題調査等)		13,383	件	88						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 379 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	76.7
		予定されていた統計調査が実施された。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	急速な高齢化、出生率の低下に伴う少子化、慢性疾患の増加等により地域保健を取り巻く環境は大きく変化している。一方で、国民の健康に対する意識の高まりから、衛生統計調査の種類・様式などの見直しが行われている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	個人情報の保護の意識が高まり、統計調査に対しての不信感が高まっている。				
	今後の予測	調査趣旨の理解を得られないことができず、調査を拒否する世帯が増加している。また、オートロックマンションによる訪問の難しさなどから調査が困難な状況が続くと予測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 衛生統計調査は、統計法で定められた指定統計等であり、厚生行政の基本資料として各種施策に反映されている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、調査目的、対象、規模が定められている。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担は無いため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、調査目的、対象、規模が定められている。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 衛生統計調査は厚生労働省からの委託事業であるため、区で調査員を委嘱し実施する。統計法、統計法施行令で市区町村長の事務が定められている。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 統計調査の協力を得るために、区民全体へ周知するのか、調査該当地域のみ周知を図るのか、を含め検討し、調査票回収率を向上させていくことが急務である。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 調査内容があまり知られていないこともあり、不信感やプライバシー保護、防犯意識などにより区民の理解が得られにくい。よって、区民への理解を得るための方策を国の動きも見据えつつ検討していく必要がある。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 平成21年度は20年度よりも統計調査数が減となるため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		各種保健事業推進活動			20年度予算コード	005	整理番号	380	枝番号
担当部課名	杉並保健所地域保健課		コード	160200	昨年度 整理番号	441 442 443 444			
係名	管理係		連絡先 電話番号	4528					
上位施策名		No	22	健康なまちづくりの推進					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業		政策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、保健所関係団体等				根拠法令等			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	関係団体と協力しての献血、薬物乱用防止、骨髄バンクドナー登録、自殺防止を推進する。関係団体の保健活動に補助金を交付する。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		(1) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (2) 自殺対策基本法 (3) 杉並区健康保持事業補助金交付要綱	
	活動指標名(式)	(1) 区内献血者数 (2) 自殺予防シンポジウム等参加者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 区内献血目標(予定)と実際に献血した人の割合(%)献血者数÷献血目標(予定)者数=献血達成率 (2) 自殺者数の19年比削減率	
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	人	1,999	5,000	1,834	5,000	5,000	36.7	
	活動指標(2)	人				800	800	0.0	
	成果指標(1)	%	33	100	37	100	100	37.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,628	6,206	5,750	7,521	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.77	0.71	0.71	1.10	19年度の事業評価では、1 献血事業の推進 2 薬物乱用防止推進のための啓発活動 3 医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助 4 杉並区地域保健推進協議会の運営 の4つに分けて、事務事業評価表を作成していたが、この4つに自殺対策推進活動を加えた内容を1つにまとめ、「各種保健事業推進活動」として事務事業評価した。活動指標としては、保健推進活動の中の典型として、区内献血者数を取り上げ、目標人数の達成率を成果指標とした。又、20年度からの新たな活動指標として、自殺予防シンポジウム等参加者数、成果指標として、自殺者数の19年比削減率を掲げた。		
	人件費	千円	6,976	6,489	6,489	10,054			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円							
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	12,604	12,695	12,239	17,575			
	単位あたりコスト(-)÷	円	6,305	2,539	6,673	3,515			
	財源	千円							
受益者負担分	千円								
国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +	千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -	千円	12,604	12,695	12,239	17,575				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	献血キャンペーン実施に係るばんそうこう作成		2,000	個	93				
	薬物乱用防止推進キャンペーン実施(2回)に係る啓発活動用ポケットティッシュ作成		5,000	個	73				
	区民健康保持事業補助金		3	団体	4,160				
	地域保健推進協議会実施(2回)に係る委員謝礼金		39	人	276				
その他 ()				1,148					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 380 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	36.7	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	92.7
	献血等推進キャンペーン用ばんそうこう作成及び献血ポスターの関係機関への送付(年2回)を計画どおり実施した。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	健康都市杉並区内推進会議の自殺対策部会で検討された自殺対策を具体化するために平成20年度、自殺対策推進活動の経費を予算化した。					
---	---	--	--	--	--	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助については、適宜見直しを行い、適正化に努めている。薬物乱用防止については、近年の薬物事犯者が増加傾向にある状況の中、薬物乱用防止の普及活動は重要さを増している。杉並区内のこの10年間自殺者は100人以上で推移している。自殺予防を強化していくことは、急務とされている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	少子高齢化社会の進展に伴い、保健への意識が高まっている。				
	今後の予測	区民の健康への関心が高まる中、関係団体の保健活動はより活発なものとなる。自殺防止、薬物乱用については、キャンペーン等により区民の意識が大きく変化する。				

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:健康なまちづくりは、関係団体、区民の保健への理解と協力が深まることが基礎であるから。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 本事業は、関係団体、区民との協働で実施する事業であり、相互の連携が重要で、事業費の増額と成果が必ずしも直結しない。 理由または具体的内容: IT化が進む中、区のホームページの活用等の工夫が必要				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民に直接的利益を供与する事業でないため、受益者負担になじまない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 各団体の補助金については、それぞれ積極的な活用がされており、又、近年見直したばかりであり、当面は現状を維持する。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 自殺対策推進活動以外は、関係団体の主体的な活動への財政援助や人的援助であり、区と団体がそれぞれの特性を生かした取組みが実現している。しかし、自殺対策推進活動は、始まったばかりであり、一部民間団体との協働でキャンペーン活動をするなどしているが、今後事業への各団体、区民の理解がすすむ中で、医師会などとの協働をさらに進める必要がある。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の保健に対する意識を高め、関係団体の保健活動をさらに積極的にしていくためには、各団体、区民との情報の共有を深めていく必要がある。そのため、区ホームページを利用するなど情報を適宜適切に発信していく必要がある。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 情報を上手に発信していくためには、職員の情報発信能力を高めていく必要がある。しかし、職員に十分な情報発信のノウハウの蓄積がない。民間の情報発信の技術を学ぶとともに委託などにより、より高度な情報発信を行っていく。		

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 自殺対策推進活動については、今年度の進展を見極めながら、さらに効果的な事業展開のあり方を検討していかなければ、目標達成は困難。そのため、予算的には増加が見込まれる。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並健康都市づくり			20年度予算コード	006	整理番号	381	枝番号
担当部課名	杉並保健所地域保健課		コード	150301	昨年度 整理番号	447			
係名	管理係		連絡先 電話番号	4528					
上位施策名		No	22		健康なまちづくりの推進				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 政策番号 (1) 施策番号 事業コード 1		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 健康増進法 (2) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21) (3) 地域保健対策の推進に関する基本的な指針				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区と区民・関係団体と協働し、イベント(健康都市杉並ファロ・よい歯ファミリーフェスティバル等)を開催する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 健康づくりに関する地域ネットワークが整備され、区民・事業者・行政が健康都市の理念を共有し、区民が安心して健康に暮らしていける。				
	活動指標名(式)		(1) イベント参加者数		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)協賛・協力団体数 (2) よい歯ファミリーフェスティバル表彰家族数		
指標		区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%
		活動指標(1)	人	5,144	6,000	6,088	6,050	6,100	99.8
総事業費・コスト把握		事業費	千円	1,061	2,165	1,895	2,321	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
		(内) 投資的経費等	千円						
人件費		(内) 委託費	千円	300	576	358	576		
		職員数(常勤 非常勤)	人	1.76	1.66	1.38	1.30		
財源		常勤職員分(超勤分含む)	千円	15,946	15,172	12,613	11,882		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
その他		総事業費 + +	千円	17,007	17,337	14,508	14,203		
		単位あたりコスト(-)÷	円	3,306	2,890	2,383	2,348		
19年度の主な取組み		受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
その他		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		
		差引: 一般財源 -	千円	17,007	17,337	14,508	14,203		
19年度の主な取組み		受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0		
		内容		規模	単位	事業費(千円)			
19年度の主な取組み		健康都市杉並ファロの開催		1	回	1,813			
		よい歯ファミリーフェスティバル開催		1	回	82			
その他		()				0			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 381 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	101.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	87.5
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・ファロ事業のイベントに関しては、健康づくり推進員・健康づくり自主グループ等と連携し実施している。 ・よい歯ファミリーフェスティバルについては、地域団体相互の協力体制を強化することで、内容の充実を図った。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	・「健康都市杉並ファロ」は平成12年より毎年開催している。中央イベントの実施主管は保健所から一時的に保健福祉部管理課に移ったが、平成16年度より再度保健所に移管されている。 ・よい歯ファミリーフェスティバルにおいては、区歯科医師会に加え、平成15年より東京都歯科衛生士会・区歯科技工士会を協賛団体として実施している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・ファロ中央イベントへの一般区民の参加が少ない。中央イベントで行なう各企画の見直しやPR方法等の改善を図り、区民ニーズに沿ったイベントになる事を期待されている。 ・よい歯ファミリーフェスティバルは、年々参加者数が増加しており、内容に関する意見・要望も多数寄せられた。				
	今後の予測	・区民・地域団体を主体とした事業展開を進めていくことが健康都市の理念普及に効果的である。健康づくり推進員の見直しを予定しており、今後、地域ファロの見直しが必要である。 ・よい歯ファミリーフェスティバルは、かかりつけ歯科医推進にも密接に関連付けていく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:健康なまちづくりの推進に必要な、健康都市の理念の共有に一定の貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:イベント内容の見直しや開催会場の規模の拡大をし、より多くの区民・地域団体の参加を推進することにより、更なる成果の向上が見込まれる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:杉並健康都市づくり事業について、今後区民が主体的に事業を実施するにしても、区民に負担を求める事はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現状の経費は、事務運営上必要な経費であり、大幅な削減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 区民・地域の自主グループ・多くの協賛団体と協働して事業を進めている。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	今後さらに多くの区民・団体と連携して、健康都市の理念を普及させて行くことが必要である。				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・健康づくり推進員の見直しをするため、今後のファロ事業については未定である。 ・よい歯ファミリーフェスティバルについては、現在の共催・協賛団体に加え、健康づくり自主グループ・NPOとも協働することで、口・歯から考える健康づくりを区民運動化していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 更なる多くの区民を推進していく上で、健康づくり自主グループの活性化は必須であるが、現存の自主グループの構成員が高齢化してきている。今後は、根本的に健康講座の見直しから行い、構成員の若返りを図る。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ・20年度は、より多くの区民参加を実現するため、ファロ中央イベントの会場を保健センターよりキャパシティの大きいセシオン杉並にし、更なる推進を図っていく。21年度については、健康づくり推進員の見直しをする事もあり、ファロ事業について未定である。 ・更なる歯科保健普及啓発のため、報告書の内容を充実させ、2次的にも波及効果をねらう。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並保健所維持管理			20年度予算コード	1	整理番号	388	枝番号	
担当部課名	杉並保健所地域保健課		コード	160200	昨年度 整理番号	439				
係名	管理係		連絡先 電話番号	4528						
上位施策名		No	22	健康なまちづくりの推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	11 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 保健所および保健医療センター利用者		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並保健所設置条例 (3) 杉並区立保健医療センター条例・同施行令						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	保健所および保健医療センターの、 庁舎管理 設備保守管理 備品管理		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設及び環境を安全で快適な状態にする。						
	活動指標名(式)	(1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 不具合件数 (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%		
	活動指標(1)	㎡	6,426	6,426	6,426	6,426				
	活動指標(2)	件	15	27	15	15				
	成果指標(1)	件	19		21					
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	80,979	102,411	75,484	102,010	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	63,146	65,232	56,110	62,562				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.54	0.61	0.54	0.54	平成11年4月竣工 建物面積は荻窪保健センターを含む。 事業の性質上、目標値は設定しない。 平成18年4月組織改正によりレイアウト変更。 画像診断システムの保守委託については、 平成17年度までは事務事業評価表を別にして いた(17年度整理番号442)が、平成18年度から 本評価表に組み入れた。 杉並保健所一般事務については、平成20年 度から事務事業評価表を別にした。			
	人件費	千円	4,892	5,575	4,936	4,936				
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0				
	非常勤職員分	千円	85,871	107,986	80,420	106,946				
	総事業費 + +	千円	13,363	16,805	12,515	16,643				
	単位あたりコスト(-)÷	円	42	1	38	1				
	財源	受益者負担分	千円	338	330	70				
国・都等からの支出金		千円	380	331	108	333				
特定財源計 +		千円	85,491	107,655	80,312	106,613				
差引: 一般財源 -		千円	0.0	0.0	0.0	0.0				
受益者負担比率 ÷	%									
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	建物総合管理及び機械警備委託(委託等)		契約件数	件	23,546					
	光熱水費(電気・ガス・水道・電話)		使用量	件	19,374					
	機械設備保守点検業務委託(委託等)		契約件数	件	19,163					
	画像診断システムの保守委託等(保健予防課)(委託等)		契約件数	件	8,254					
	その他 (委託・修繕・維持管理用品・電柱広告使用料)		契約件数	件	5,147					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 388 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	55.6	19年度予算 執行率%	73.7
		電気設備保守や機械設備保守などの委託費を前年よりも削減することができた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		情報展示コーナーを改修し、効率的に使用することができた。 各課の事業の増加により光熱水費などの維持運営経費が引き続き増加した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成11年度の運営開始時は「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設したが、平成12年度と13年度の平日は休止となる。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設した。夜間の開設時間が延長となったため、警備員や駐車場管理の委託費が増大した。平成17年度に「杉並区急病医療情報センター」の委託事業の開始により、施設内の「テレホンサービス事業」が廃止となる。平成18年度地域保健課が新設され、保健予防課ではHIV検査、健康推進課では休日パパママ学級の委託事業などが始まり、土・日曜日の施設利用頻度は高まってきている。平成19年度より「医療安全相談窓口」を開設した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	建物及び設備の劣化等により修繕費および保全費用等の経費が増大する。 各課の事業の増減により光熱水費も増減するが、平成20年度より「休日等夜間急病診療所」の開設時間が延長するため、光熱水費の増加が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由:保健衛生行政及び健康都市づくりの各である保健所を利用する区民に対して、安全で快適な施設を提供することは、区民の保健福祉向上に必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:各事業の利用による負担があるため、当事業の受益者負担は、講堂の目的外利用料のみである。平成15年度から開始し、条例に基づき適正である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:環境マネジメントプログラムを徹底することにより、光熱水費を縮減する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 設備点検、清掃、警備等について委託する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境マネジメントシステムの運用を継続して、職員一人ひとりの節水・節電・紙の節約等の意識を向上させる。 CR機器は結核予防対策の一環としてのレントゲン撮影に使用するものであり、結核対策のあり方によって必要な機器が変わればそれに対応する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 民間の事業所も混在する複合施設なので、勤務する者の形態が違い、経費節減の目的意識の徹底が難しい。 各課・事業所が実施する事業によって維持経費が増減する要素が大きく、一概に前年と比較できない。 コンピューター機器であるCRは技術の進歩とそれに伴う低価格化が進んでいるため、適切な時期に更新することによりコストダウンを図る。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	維持経費については、各課・事業所の事業によって変動するため予測しにくい。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		住民参画の健康なまちづくり				20年度予算コード	012	整理番号	391	枝番号			
担当部課名	健康推進課	コード	150401		昨年度 整理番号	455,456,469							
係名	健康推進係	連絡先 電話番号	4524										
上位施策名		No	22		健康なまちづくりの推進								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	2	政策番号	(1)	施策番号	事業コード	1	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			根拠法令等								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	自らの健康学習から地域の健康づくの把握や健康なまちづくりに向けた講座やイベントの企画及び普及に参画する区民を育成支援する。食育や健康づくりに参画する区民のネットワークを拡大する				(1) 健康増進法 (2) 食育基本法 (3) 地域保健法							
	活動指標名(式)	(1) 新規誕生自主グループ数 (2) 地区会事業開催回数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) メタボリックシンドローム等の生活習慣病予防や食育など地域の健康課題を生活の中での様々な要素を多面的総合的に捕らえ、解決にむけて主体的に取り組む区民の活動を拡大し健康都市の実現をはかる。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 自分は健康だと思う区民の割合 (2) 適正な食事内容を知っている人の割合 (20歳以上)							
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%			
			実績		計画		計画		22年度				
	活動指標(1)	団体	13		20		9		20	45.0			
	活動指標(2)	回	80		70		78		70	111.4			
成果指標(1)	%	80		85		81		82	97.3				
成果指標(2)	%	59		70		59		60	90.8				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,745		3,032		1,795		6,177		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円							3,000				
	職員数 (常勤 非常勤)	人	9.06	0.60	8.98	0.40	6.43	0.43	6.43	0.43			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	82,084		82,077		58,770		58,770			
		非常勤職員分	千円	1,698		1,108		1,191		1,191			
	総事業費 + +	千円	85,527		86,217		61,756		66,138				
	単位あたりコスト(-)÷	円	6,579,000		4,310,850		6,861,778		3,306,900				
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0		0		0		0				
差引: 一般財源 -		千円	85,527		86,217		61,756		66,138				
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0					
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)							
	健康づくり推進員活動助成			9	地区	765							
	地域団体との共同事業開催(5保健センター)及び地域支援講習			19	回	517							
	自主グループ交流会等ネットワーク事業(5保健センター)			1,017	人	323							
	食育推進ネットワーク講習会			1	回	66							
	その他 (健康づくり推進員研修会・会議費)					124							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 391 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	45.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	111.4	19年度予算 執行率%	59.2
	各種講習会等を専門職員で対応したため講師謝礼の支出を削減した。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	地域網羅的な人的配置による健康づくり推進員から、核となる人材の育成から地域に染み渡る健康づくりの仕組みづくりを行う。また、子どもから高齢者まですべての区民が安心して健康的な食生活をおくれるように区の食育推進に向けて食育関係者のネットワークに向けた取り組みを始めた。
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	健康づくり推進員は、区長の委嘱制度から地区会への活動費補助による無償ボランティアとして発展し地域の健康づくりを推進してきた。また、自主グループは、健康講座終了を契機にグループを結束し継続的な生活習慣の改善とその手法の広く区民に普及する活動を行ってきた。食育基本法に基づく食育の推進に向けて取り組みを開始した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	健康づくり推進員や健康づくり自主グループネットワーク企画の講座は、参加者が多く人気がある。杉並ウエストサイズ物語コーナーや定期的な活動や地域のイベントでの健康チェックなど健康づくり推進員の活動が地域に広がっている。
	今後の予測	健康に関する学習や新たな健康課題への改善意欲をもった区民との協働より、地域のネットワークの構築を行いながら、区民の健康づくりに向けて施策への参画及び健康な生活に役立つ活動の展開が今後ますます求められる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 地域の実情を理解し、課題解決に向けて主体的に取り組む区民との協働は健康づくり活動に重要な推進基盤となる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 健康づくり推進員の態勢を再構築する。 理由または具体的内容: 忙しく働く年代も含めて、幅広い年代の参加を拡大できるようなしくみが必要
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: すでに必要に応じて受益者負担になっている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在でも活動費等は、最低限としている

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 地区会に補助金を支出して健康づくり推進員の活動費の一助としているが、根本的に見直しを行いより成果の出る態勢としていく。	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 健康づくり推進員は、地域大学での研修を義務付けするなど、その役割の重要性や意識付けを行い、地域での健康づくりの推進の核として、具体的な健康づくりの推進への働きかけができる態勢を整える。健康づくり自主グループは継続的な健康学習と日常の体験の交流を通じて誰もが健康になるしくみや環境への働きかけを行えるように支援する。食育は、一人ひとりの健康的な食の選択能力の向上と、健康的な食生活に関する暮らしを取り巻く様々な環境の整備を推進する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 氾濫する健康情報やライフスタイルが多様化する中で健康生活への意識や概念が変化している。こうした状況下、従来の健康教育のあり方や実施方法では、実践的な改善が得られない。そのため、研修日程や方法の工夫、IT等を活用した普及方法の改革、人的ネットワークの構築等あらゆる資源を駆使する必要がある。	

21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	区民に健康づくり正確な情報の普及や取組を促進するため、研修制度の充実やボランティアとしての実費弁償的経費を支出し多くの区民が参画するための態勢を確保する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公共的施設の分煙化の推進			20年度予算コード	013	整理番号	392	枝番号	
担当部課名	杉並保健所健康推進課		コード	150401	昨年度 整理番号	453				
係名	健康推進係		連絡先 電話番号	4524						
上位施策名		No	22		健康なまちづくりの推進					
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成		15年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 2 政策番号 (1) 施策番号 事業コード 2		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 分煙プレート等の配布：健康増進法第25条に規定する施設 講演会等：一般区民		(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区における喫煙対策指針 (3) 杉並区喫煙対策実施施設登録制度実施要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	たばこ健康に関する正しい知識の普及・啓発のため、ポスター等の作成および掲示、外部講師による講演会を実施。また、適切な方法で禁煙・完全分煙を行っている施設を登録し、禁煙・分煙プレートを配布する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） たばこ健康に関する正しい知識を得て、禁煙および受動喫煙が防げる。 公共的施設や店舗が杉並区喫煙対策実施施設として登録する。						
	活動指標名(式)	(1) ポスター・パンフレット作成・配布数 (2) 講演会参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 喫煙対策実施施設の登録数(累計) (2) 喫煙者率						
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画	22年度		
	活動指標(1)	枚	6,500		7,000		7,100	7,100	100.0	
	活動指標(2)	回	69		150		42	150	28.0	
	成果指標(1)	件	159		300		196	300	19.6	
成果指標(2)	%	28		22		28	21	140.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	850		1,295		819	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円								
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.30	0.00	0.24	0.00	0.34	0.10	0.34	0.10
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,718		2,194		3,108	3,108	
		非常勤職員分	千円	0		0		277	277	
	総事業費 + +	千円	3,568		3,489		4,204	4,795		
	単位あたりコスト(-)÷	円	549		498		592	675		
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円						504	
特定財源計 +		千円	0		0		0	504		
差引：一般財源 -		千円	3,568		3,489		4,204	4,291		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0	0.0			
19年度の主な取組み	内 容		規模		単位	事業費(千円)				
	普及啓発用ポスターおよびチラシの作成・配布		7,100		枚	335				
	講演会の実施		1		回	42				
	喫煙対策実施登録施設へのプレート印刷・配布		1,000		枚	432				
	その他 (郵送料)					10				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 392 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	101.4	活動指標(2)の 19年度達成率%	28.0	19年度予算 執行率%	63.2
		喫煙対策実施登録施設の増加が進まず、プレートの印刷枚数を予定より少なくした。予定していた講演会の実施が1回しかできなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		薬剤師会、整骨院、介護施設等への禁煙対策実施登録施設への説明を行い登録の協力を促した。 平成20年は、公共的施設の喫煙対策実施状況の把握および登録を促す目的で、アンケート調査実施のため、予算が増額されている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成15年の健康増進法に伴い、公的施設や医療機関、公共交通機関の分煙化が進んでいるが、飲食店や娯楽施設の登録店が少ない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	公共的施設での望まない受動喫煙を防止するため、禁煙施設の増加に関する要望は強い。					
	今後の予測	今後も社会情勢等から受動喫煙防止のため、禁煙施設や禁煙エリアの拡大は進むと思われる。それに伴い、喫煙者の立場を考慮に入れた普及・啓発活動や禁煙を望む人に対するサポート対策を進める必要がある。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: たばこ・喫煙の問題に様々な視点から取り組むことで、受動喫煙を防止する環境整備や喫煙者を減少させることができ、健康都市の実現に貢献できる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 禁煙を希望する区民に対して、具体的なサポート方法を検討する。また、公共的施設の分煙化状況の把握と登録増加のために調査を実施する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区民に対する普及・啓発や受動喫煙防止の環境整備は受益者負担になじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在のところ受益者負担になるものはない。					
	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄					
協働等点検	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 禁煙希望者に対し、企業や医療機関と協働し、禁煙サポート教室や禁煙サイト等の利用を行う。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 NPOや地域団体と協力し、禁煙対策実施登録施設について積極的にPRを行い、喫煙対策実施施設を増やす。また、禁煙希望者に対しては、現在禁煙外来等に関する情報提供を行っているが、今後、NPOや医療機関と協働し、禁煙サポート対策を強化する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 禁煙対策実施登録施設の登録を進めていくためには、たばこの流通・販売業者や喫煙者の理解と協力が必要になる。各部署と連携をとりながら、地域全体に対しての普及・啓発を進める必要がある。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	商店会等と協力し、昼食時の時間禁煙店等の登録を進める。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特定給食施設への指導				20年度予算コード	015	整理番号	394	枝番号	
担当部課名	健康推進課	コード	150401		昨年度 整理番号	461					
係名	健康推進係	連絡先 電話番号	4524								
上位施策名		No	22		健康なまちづくりの推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設		根拠法令等 (1) 健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条 (2) 杉並区健康増進法施行規則第3条、第4条、第5条 (3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	栄養管理が必要な給食施設に対して巡回及び来所指導、提出された栄養管理報告書をもとに喫食者の健康維持増進に向けて必要な指導を行う。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 講習会やネットワークの構築を図ることで、特定給食施設における栄養管理業務の向上や喫食者の健康の維持増進をはかる。またこうした取り組みを通じて区民の食環境の充実と地域の健康づくりや食育を推進する。							
	活動指標名(式)	(1) 施設への巡回指導及び来所指導件数 (2) 講習会参加者数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 給食の位置づけに対して十分機能している給食施設数/栄養管理報告書を提出した給食施設数 (2) 喫食者に栄養・健康教育を実施した施設数/栄養管理報告書を提出した給食施設数							
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度		目標値	目標値に対する19年度の達成率%	
			実績		計画		計画		22年度		
	活動指標(1)	施設	45		100		75		100	75.0	
	活動指標(2)	人	87		150		96		150	64.0	
	成果指標(1)	%	52		60		59		70	73.8	
成果指標(2)	%	61		60		54		60	77.1		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	154		359		294		361		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.17	0.45	0.21	0.45	0.23	0.20	0.23	0.20	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,540		1,919		2,102		2,102	
		非常勤職員分	千円	1,274		1,247		554		554	
	総事業費 + +	千円	2,968		3,525		2,950		3,017		
	単位あたりコスト(-) ÷	円	65,956		35,250		39,333		30,170		
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		
差引: 一般財源 -		千円	2,968		3,525		2,950		3,017		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0			
19年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	栄養管理者講習会				2	回	164				
	栄養技術講習会				2	回	88				
	巡回指導				75	回	42				
	特定給食施設と協働による区民への健康づくり普及活動				2	回					
	その他 ()						0				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 394 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	75.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	64.0	19年度予算 執行率%	81.9
		講師謝礼等を減額できたため					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成20年度から特定健診・特定保健指導が始まることに伴い、医療制度の視点や目標を理解する為の講座やメタボリックシンドローム予防に向けた喫食者の栄養教育の実践に活用する為の食事バランスガイドを使った給食の提供への実践指導を行った。集団給食研究会への支援を通じて、メタボリックシンドローム対策や食育の区民普及イベントが実施できた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	近年、外食利用の増加等により集団給食の役割が変化してきた。給食運営においては、朝食欠食者の増加や嗜好偏重等飽食対策が求められ食教育に重点がおかれ始めた。また、喫食者の健康管理や栄養指導を重視した給食提供へと給食運営の主旨が変更されてきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	食事バランスガイドを活用したメタボリックシンドローム対策、食文化や食物の生産や調理を含めた食育の推進、高齢者への介護予防、機能回復にむけた栄養管理等を視野に施設間のネットワークを充実させながら実践につなげていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:給食を通じて、区民の食習慣改善、生活習慣病予防のきっかけづくりの場として重要である。給食を通じた家庭や地域の健康づくり活動の普及や地域のネットワークづくりを強化することで健康なまちづくりの一助となる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:各施設の主体的な活動を、より推進する施設指導を充実させる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:受益者負担を導入する性格の事業ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:最低限のコストで事業を行っている。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 区内給食施設の8割が加入する主体的な活動団体である杉並区集団給食研究会との協働により、給食施設の効果的な給食管理や地域の健康づくり活動の普及を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在の集団給食研究会の主体的な活動によるネットワークを充実させ、施設別の重要課題への対応、地域別の健康づくりの課題などに対応した企画や活動を行い、各々の施設の給食管理による効果をあげる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 給食施設における栄養管理、給食運営のあり方が変化し、栄養管理計画や評価等の事務作業の増加や厳しい従事体制の中で、各施設から講習会や会議への出席が困難な状況がある。勤務時間外の設定や給食管理に即対応できる内容を検討し効果的な活動につなげる。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 給食を通じて、喫食者が何をどれだけ食べたらいいか、自分の適量が理解できるような各施設における効果的な食育の方法について検討する。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神保健対策				20年度予算コード	160900	整理番号	409	枝番号	
担当部課名	保健予防課	コード	150701			昨年度 整理番号	462 463 464 465				
係名	保健予防係	連絡先 電話番号	4525								
上位施策名		No	22		健康なまちづくりの推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	50 年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 精神障害者及びその家族ならびに一般区民			根拠法令等 (1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (2) 杉並区精神保健事業実施要領 (3) 杉並区精神障害者デイ・ケア事業実施要領						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	精神専門医と保健師による区民及び関係者への精神保健相談 (5保健センターで実施) 回復途上にある精神障害者への社会復帰訓練 (5保健センターで実施) 区民及び関係者に心の健康づくり、精神疾患の正しい理解のための講演会実施			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民や関係者が心の健康問題について関心を持ち、精神疾患の早期発見早期治療が行える。また、回復途上の精神障害者が集団活動を通じて円滑な対人関係を持ち、社会参加が促進できる。						
	活動指標名(式)	(1) 精神保健相談延べ件数(保健師の訪問、面接、電話相談) (2) 社会復帰訓練参加延べ人数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)精神保健相談実人員 (2) 社会復帰訓練退所者のうち社会復帰と判断された者/社会復帰訓練退所者 × 100 (%)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	件	16,078	13,000	13,475	13,500	14,000	96.3			
	活動指標(2)	人	3,440	3,000	2,763	3,000	3,000	92.1			
	成果指標(1)	人	2,667	2,800	2,867	2,900	2,900	98.9			
	成果指標(2)	%	79	80	89	90	95	94.1			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	17,932	19,238	17,940	19,280	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	11.27 0.37	11.31 1.02	9.12 0.91	9.62 0.89	・区民の精神疾患への理解や心の健康づくりについては適当な指標がない。 ・活動指標(1)成果指標(1)は、アディクション等専門相談は含まない。 ・社会復帰訓練は、個人の目標に合わせた地域での自立を目標としているため、中断や入院しないで終了した時の状況を指標とした。				
	人件費	千円	102,106	103,373	83,357	87,927					
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,047	2,825	2,521	2,465					
	非常勤職員分	千円	121,085	125,436	103,818	109,672					
	総事業費 + +	千円	7,531	9,649	7,704	8,124					
	単位あたりコスト(-)÷	円									
	財源	千円									
受益者負担分	千円	428	608	415	428						
国・都等からの支出金	千円	428	608	415	428						
特定財源計 +	千円	120,657	124,828	103,403	109,244						
差引:一般財源 -	千円	0.0	0.0	0.0	0.0						
受益者負担比率 ÷	%										
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	精神保健に関する相談		162	回	5,941						
	精神障害者の社会復帰訓練		382	回	11,478						
	心の健康づくりに関する講演会		5	回	427						
	その他 ()				94						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 409 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	103.7	活動指標(2)の 19年度達成率%	92.1	19年度予算 執行率%	93.3
	社会復帰訓練は、通所直後のグループと地域での自立を目標としたグループに分けている。それぞれの段階に応じてグループを「卒業」する利用者が増えたため、全体の通所者が減少している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	心の健康づくりに関しては、近年課題となっている自殺者の増加に絡み「うつ対策の強化」に取り組んでいる。荻窪保健センターを中心にうつ講演会やうつ病の患者を持つ家族の会の運営などを行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	50年に保健所業務が区移管されるとともに、精神障害者に対する相談、社会復帰訓練事業が開始された。現在は18年に施行された障害者自立支援法のもとに知的、身体、精神の障害者がそれぞれの目標に合わせた地域生活を送れるよう関係機関全体で支援しており、役割の明確化が求められている。一方、自殺の一因となっているうつ病などの精神疾患に対して、区民への正しい知識の普及と早期対応のための講演会などの啓発活動が重要になっている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	長期入院患者や入退院を繰り返す不安定な精神障害者に対し、迅速できめ細かな対応が求められている。働き盛りの区民が参加しやすい形の啓発活動が求められている。うつ病の講演会など、働き盛りの層が受講しやすい夜間、土日開催等の講演会の工夫が求められている。				
	今後の予測	自立支援法の下に社会状況合わせて精神障害者特有の支援体制が必要。児童思春期、青年中年期の働き盛り層、高齢期のそれぞれにあった心の健康づくり普及啓発が求められる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:10年連続で自殺者が3万人を超える現在、その一因といわれる心の病に關しての働きかけは行政として不可欠である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 児童思春期、青年中年期の働き盛り層、高齢期の各ライフステージごとの問題に応じた取り組みを全庁的に推進する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく業務に受益者負担はない。また、精神疾患の予防は医療費の削減に効果がある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 社会復帰訓練事業など民間団体の運営に委託している区もある。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 他区では実現している自治体もあるが、現在杉並区においては委託先となる団体が存在しない。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 精神障害者の社会復帰訓練については、21年度から5保健センターで週に1回開催に平準化し、個々の自立のイメージに合わせたきめ細かい支援を行い、作業所等地域社会資源を十分に活用できるよう関係機関と連携を図っていく。また、自殺対策の一環として自殺予防月間にうつ病等の心の健康づくり講演会を充実させていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 21年度の社会復帰訓練の変更に伴い、発病後間もない不安定な患者や退院直後の精神障害者を社会復帰訓練に結びつける活動の強化や、社会資源を有効に活用できる訓練メニューの工夫などが必要。また、自立支援法の就労支援施設の情報タイムリーに還元していく必要がある。 また、働き盛り層に向けて多くの人を受講できるような心の健康づくりの講演会を関係機関や職域団体と連携していく。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 社会復帰訓練については、実施回数の減員分を地域活動の強化にあて、新規ケースの掘り起こしや対応を充実させる。精神保健相談については、アクション等専門相談を活用して相談力の向上と技術向上を図る。 心の健康づくりに関しては、講演会の実施などは自殺対策の一環として取り組む。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健センター維持管理		20年度予算コード	2	整理番号	416	枝番号			
担当部課名	荻窪保健センター		コード	163100	昨年度 整理番号	493					
係名	業務係		連絡先 電話番号	4526							
上位施策名		No	22	健康なまちづくりの推進							
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行単計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策 番号	施策 番号	事業 コード			
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例 (3) 杉並区保健センター条例							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 庁舎・施設機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕			事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 庁舎・器機の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適な環境を整備する。							
	活動指標名(式) (1) 建物面積1㎡ (2) 保守委託契約件数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 修繕件数 (2)							
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に		
			実績		計画		計画	22年度	対する19年度 の達成率%		
指標	活動指標(1)		㎡	1,335	1,335	1,335	1,335	1,335	100.0		
	活動指標(2)		件	5	4	4	5	4	100.0		
	成果指標(1)		件	3	2	4	4	4	100.0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,408	2,090	1,659	2,476	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円	321	227	227	650				
	(内) 委託費		千円	243	225	225	246				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.70 0.00	1.70 0.20	1.70 0.20	1.70 0.40	荻窪保健センター面積(単位:㎡) 1335.88			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	15,402	15,538	15,538				15,538
		非常勤職員分		千円	0	554	554				1,108
	総事業費 + +		千円	16,810	18,182	17,751	19,122				
	単位あたりコスト(-)÷		円	12,351	13,449	13,127	13,837				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	16,810	18,182	17,751	19,122					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		修繕費					4	件	299		
		器機保守委託(委託)					4	件	225		
		賃借料					1	件	215		
		その他 ()							920		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 416 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	79.4
		消耗品等の節減に努めたが、更なる努力が求められる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		危機管理対策の一環として、相談室防犯ブザー設置修理を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスのあり方にも変化が求められている。医療関係器機の老朽化に伴い、耐用年限を超え、交換の時期を迎えているものが多い。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	各種健診・相談事業・健康づくりの拠点として十分活動していくためには、一層維持管理を充実していくことが重要である。また、第4次行政改革実施プラン提案では「保健センターのあり方」の見直しとして、保健センター全体のあり方について検討会を設置し、検討するとしている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供していく施設として、保健センターは、区民の保健福祉の向上のために欠かせないものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 施設の老朽化により維持費や修繕費が増加している。区民の誰もが利用しやすい施設としていくためには、費用増が見込まれる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 地域保健法に基づく利用者又は保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 「保健センターのあり方」の見直しに際し、設備機器・医療機器等各種備品の管理等のあり方についても検討していけば、より一層コストを下げる余地はある。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 専門業者による適切な施設維持管理が行われているが、更なるコストダウンを図る。また、今後も引き続き、ISO14001の教育訓練の徹底など、質の向上を図っていく。						
(7) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)							

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の保健行政に対する需要は年々多様化し、それに応えるため、安全で快適な保健センター維持管理運営の果たす役割は大きい。当保健センターは妊産婦や高齢者、障害者の利用頻度が高いため、一定のバリアフリー対策を講じているものの、受付窓口のローカウンター化などの改善が必要である。また、コストダウンの観点から医療機器等の管理、保守及び修繕のあり方を見直していく必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財源の確保が困難であると思われるが、老朽化しつつある医療機器等については買い替え等を働きかけていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 保守委託契約などについては無駄を省き、より質が高くコストの低い維持管理運営を行っていく。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高井戸保健センターの維持管理		20年度予算コード	3	整理番号	417	枝番号	
担当部課名	高井戸保健センター	コード	163500	昨年度 整理番号	509				
係名	業務係	連絡先 電話番号	4506						
上位施策名		No	22	健康なまちづくりの推進					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	42 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例 (3) 杉並区保健所センター条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備する。					
	活動指標名(式)	(1) 建物面積1㎡ (2) 保守契約委託件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 修繕件数 (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	㎡	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357	100.0	
	活動指標(2)	件	15	15	15	15	15	100.0	
	成果指標(1)	件	10	17	13	15	15	86.7	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	12,987	13,917	13,002	14,435	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	96	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	7,149	7,168	6,827	7,066			
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.30 0.00	2.21 0.00	1.85 0.00	1.85 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,778	20,199	16,909			16,909
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	24,765	34,116	29,911	31,344			
	単位あたりコスト(-)÷	円	18,179	25,141	22,042	23,098			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	24,765	34,116	29,911	31,344			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)			
	清掃業務請負(委託)			1	式	4,858			
	機械設備保守(委託)			1	式	851			
	光熱水費			12	月	2,956			
	修繕費			13	件	762			
その他 ()					3,575				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 417 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	93.4
		光熱水費、消耗品費の節減等に努めたが、更なる努力が求められる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		診察室ロビーの待合いすの傷みがひどく、区民に迷惑をかけていたが、19年度に光熱水費から予算流用し、買い替えることができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスのあり方にも変化が求められている。センターは施設の老朽化に伴い、設備修繕が多数発生し、医療機器も耐用年数を超え、交換の時期をむかえている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	エレベーター設置の要望が出ている。					
	今後の予測	各種健診・相談事業・健康づくりの拠点として十分な活動をしていくために、一層維持管理を充実させることが重要である。また、再編部会にて「保健センターのあり方」について検討中である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診断や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することにより、保健福祉の向上に欠かせない施設である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 施設の老朽化により、維持費や修繕費が増加している。区民の誰もが利用しやすい施設にするためには費用増が見込まれる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 使っていない時間に利用できる会議室の一般利用の創設					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: ISOに基づく減量化					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 専門業者による適切な施設維持管理が行われているが、更なるコストダウンを図る。また、今後も引き続き、ISO14001の教育訓練の徹底など、質の向上を図っていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の保健行政に対する需要は年々多様化し、それに応えるため安全で快適な保健センター維持管理運営の果たす役割は大きい。特に母子、高齢者、障害者の利用頻度は高いが、開設から40年を超え、施設のバリアフリー対応ができていない。施設の老朽化が進む中で、大規模な施設の修繕を図る必要がある。また、コストダウンの観点から、設備、医療機器等各種備品の管理、保守点検、修繕のあり方を見直していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 母子、高齢者、障害者が利用する施設にもかかわらず、エレベーターの設置もなく、事務室、講堂は2階である。現状の建物・設備が老朽化したままでよいのか、これからの保健センターのあり方に関わる重要な課題である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 保守委託契約については、無駄を省き、より質が高く、コストの低い維持管理運営を行う。建物の老朽化が進み、修繕費が年々増加している。また、バリアフリー化については所内で出来るところから予算化を図る。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高円寺保健センターの維持管理		20年度予算コード	4	整理番号	418	枝番号	
担当部課名	杉並保健所高円寺保健センター	コード	163900	昨年度 整理番号	493の一部				
係名	業務係	連絡先 電話番号	4512						
上位施策名	No	22	健康なまちづくりの推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	50 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			
	活動指標名(式)	(1) 建物面積1㎡ (2) 保守委託契約件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 修繕件数 (2)			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	㎡	1,765	1,765	1,765	1,765	1,765	100.0	
	活動指標(2)	件	12	14	14	14	15	93.3	
	成果指標(1)	件	20	20	11	10	10	110.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	21,312	23,320	21,557	23,828	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	79	390	507	69			
	(内) 委託費	千円	12,255	12,752	12,236	12,698			
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.21	1.21	1.50	1.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,963	11,059	13,710	13,710		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	32,275	34,379	35,267	37,538			
	単位あたりコスト(-)÷	円	18,241	19,257	19,694	21,229			
	財源	受益者負担分	千円	237	218	205	222		
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	237	218	205	222			
差引: 一般財源 -		千円	32,038	34,161	35,062	37,316			
受益者負担比率 ÷	%	0.7	0.6	0.6	0.6				
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)			
	清掃業務請負(委託)			1	件	8,585			
	機械設備保守(委託)			1	件	1,237			
	光熱水費			12	月	5,852			
	修繕費			11	件	971			
その他 ()					4,912				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 418 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	92.4
		委託経費、光熱水費等の節減に努めている。その一方で、必要な修繕は実施せざるを得ない。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		引続き当センターの施設・設備の老朽化が進んでおり、営繕課との協議の中で、空調設備、給排水設備、外壁改修等の大規模修繕の着手に向けたPTを立ち上げるなどにより、20年度設計、21年度改修工事を実施する方向で、検討中である。 なお、玄関の段差や凹凸などについては、19年度修繕工事を行い改善した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	数年前から、空調設備・給排水等の大規模改修の必要性が指摘されてきたが、予算化には至らず、ようやく実施の方向で検討が行われている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	エレベーターの設置、洋式トイレへの改善等の要望・意見がある。					
	今後の予測	大規模改修に向けた検討が開始され、実施を前提に対応しているが、保健センターの今後のあり方などとの調整があり、決定には至っていない。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:地域の健康相談、健康づくりの拠点としての保健センターの施設の安全と管理を実施する意義は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容:大規模改修が必要な段階にきている。 理由または具体的内容:大規模改修のための事業費の増加は避けられない。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:分室使用料の見直しが考えられるが、大きな変化は期待できない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:改修後の個別空調など必要に応じた空調などにより、光熱水費や修繕費の削減が見込まれる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	施設や機器類について、適切に対応が出来る専門業者による保守委託が必要。また、施設の保全状況を専門機関等の協力を得て定期的な検査、点検が必要。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 大規模改修について、20年度設計、21年度改修工事のスケジュールで予定どおり実施する場合、その準備作業を早急に進める必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 多額の改修経費が必要となること、改修期間(概ね7~8ヶ月)は他の代替施設に移転して業務を継続することとなるための諸問題の解決。今後の保健センターのあり方についても明確にしていく必要があること。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 大規模改修に要する多額の工事費等の計上が必要となる。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		上井草保健センター - の維持管理			20年度予算コード	5	整理番号	419	枝番号	
担当部課名	上井草保健センター -		コード	164300	昨年度 整理番号	493				
係名	業務係		連絡先 電話番号	4504						
上位施策名		No	22	健康なまちづくりの推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード				
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所の設置に関する条例 (3) 杉並区保健センター - 条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適な環境を整備する。				
	活動指標名(式)	(1) 建物面積1㎡ (2) 保守契約委託件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 修繕件数 (2)				
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/	
	活動指標(1)	㎡	815	815	815	815	815	100.0		
	活動指標(2)	件	11	12	11	11	11	100.0		
	成果指標(1)	件	10	10	10	10	10	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	10,887	12,281	10,258	12,410	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円	4,383	4,613	4,585	4,606				
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.15 0.05	1.15 0.05	1.13 0.05	1.13 0.05				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,419	10,511	10,328	10,328			
		非常勤職員分	千円	142	139	139	139			
	総事業費 + +	千円	21,448	22,931	20,725	22,877				
	単位あたりコスト(-)÷	円	26,317	28,136	25,429	28,070				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	21,448	22,931	20,725	22,877				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0					
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)					
	清掃業務委託(委託)		1	式	3,246					
	機械設備保守(委託)		1	式	474					
	光熱水費		12	月	1,496					
	修繕費		10	件	1,001					
その他 ()				4,041						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 419 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	91.7	19年度予算 執行率%	83.5
		光熱水費、消耗品費の節減等に努めたが、更なる努力が求められる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		19年度に自動ドアの修理、歯科ユニットベ - ス修理、木製建具修理外各種修理等を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サ - ビスの質やあり方にも変化が求められている。センタ - は施設の老朽化に伴い、設備修繕が多々発生し、医療機器も耐用年数を超え、交換の時期を向えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	エレベ - タ - 設置の要望が出ている。					
	今後の予測	各種健診・相談事業・健康づくりの拠点として十分な活動をしていくために、一層維持管理を充実させることが重要である。また、再編部会にて「保健センタ - のあり方」について検討中である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診断や健康相談などのライフステ - ジに応じた保健サ - ビスを提供することは保健福祉の向上に欠かせない施設である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 施設の老朽化により維持費や修繕費が増加している。区民のだれもが利用しやすい施設にするためには費用増が見込まれる。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 使っていない時間に利用できる会議室の一般利用の創設					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: ISOに基づく減量化					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 専門業者による適切な施設維持管理が行われているが、更なるコストダウンを図る。また、今後も引き続き、ISO14001の教育訓練の徹底など、質の向上を行っていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の保健行政に対する需要は年々多様化し、それに応えるため安全で快適な保健センタ - 維持管理運営の果たす役割は大きい。特に妊産婦や高齢者、障害者の利用頻度が高いが、荻窪を除き設立年数が古くバリアフリ - 対応ができていない。今後、エレベ - タ - の設置や段差の解消、施設の老朽化が進んでいるため、大規模な施設の改修等を営繕課と協議しながら改善を図る。また、コストダウンの観点から設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕のあり方を見直していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財源の確保が困難であると思われるが、営繕課調査を通じて改革案を働きかけていく。また、ガソリン代の高騰により光熱水費・原材料費の増が見込まれる。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 保守委託契約などについては無駄を省き、より質が高くコストの低い維持管理運営を行う。一方、バリアフリ - 化について所内で出来るところから予算化を図る。		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		和泉保健センター維持管理		20年度予算コード	006	整理番号	420	枝番号	
担当部課名	和泉保健センター		コード	164700	昨年度 整理番号	493			
係名	業務係		連絡先 電話番号	4508					
上位施策名		No	22	健康なまちづくりの推進					
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	56 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	庁舎・設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民にとって快適で安全な環境を整備する。					
	活動指標名(式)	(1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 修繕件数 (2)					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	㎡	620	620	620	620	620	100.0	
	活動指標(2)	件	11	11	11	11	11	100.0	
	成果指標(1)	件	8	1	5	1	5	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	8,796	9,523	8,375	9,657	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円							
	(内) 委託費	千円	4,026	4,090	4,063	4,161			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.80	0.80	0.90	0.90			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,248	7,312	8,226	8,226		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	16,044	16,835	16,601	17,883			
	単位あたりコスト(-)÷	円	25,877	27,153	26,776	28,844			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	16,044	16,835	16,601	17,883			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	清掃業務請負委託		1	式	2,312				
	機械設備保守委託		1	式	143				
	光熱水費			月	1,821				
	修繕費		5	件	629				
その他 ()				3,470					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 420 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	87.9
		各種設備等が老朽化していることもあり、委託経費、光熱水費の節減等に努めたが、効果があがらず、更なる努力が求められる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		19年度に、老朽化したエックス線設備の総合調整、点検、修理をおこなった。また、改修要望の多かった和式トイレから洋式トイレへの改修を実施した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められている。センターは施設の老朽化に伴い、設備修繕が多々発生し、医療機器も耐用年数を超え、交換の時期を迎えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	エレベーターの設置要望がある。					
	今後の予測	第4次行政改革実施プラン提案では、「保健センターのあり方の見直し」として、平成21年度の実施に向け、5保健センターの業務の一部を大規模センター3箇所にするなど、保健センター全体の業務のあり方について検討会を設置し、検討するとしている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごすことができるよう、各種健康診査や健康相談などのライフステージに応じた保健サービスを提供することは保健福祉の向上に欠かせない施設である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 誰もが利用しやすい施設にするためにエレベーターの設置やトイレのベビーベッド整備授乳室確保など施設設備の大規模な改修工事が必要である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 地域保健法に基づく利用者または保健センター条例による利用者であり、使用料条例に基づく現在の受益者負担は妥当である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 「保健センターのあり方の見直し」にあたって、設備機器・医療機器等各種備品の管理等のあり方についても検討していけば、より一層コストを下げる余地はある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 専門業者により適切な施設維持管理が行われているが、更なるコストダウンを図る。また、今後も引き続き、ISO14001の教育訓練の徹底など、質の向上を行っていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民の保健行政に対する需要は年々多様化し、それに応えるため安全で快適な保健センター維持管理運営の果たす役割は大きい。特に妊産婦や高齢者、障害者の利用頻度が高いので、今後、エレベーターの設置や段差の解消、施設の老朽化が進んでいることもあり、大規模な施設の改修等を営繕課と協議しながら改善を図る。また、「保健センターのあり方の見直し」にあたっては、例えば、コストダウンの観点からも設備機器・医療機器等各種備品の管理、保守点検及び修繕のあり方を見直していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 財源の確保が困難であると思われるが、営繕課調査を通して改革案を働きかけていく。大規模な改修の場合、健診や通常業務の遂行が困難になるので、代替施設の確保等が必要となる。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 保守委託契約などについては無駄を省き、より質が高くコストの低い維持管理運営を行う。一方バリアフリー化について、できるところから予算化を図るとともに、毎年区民より要望のあるエレベーター設置を営繕課に働きかけていく。		